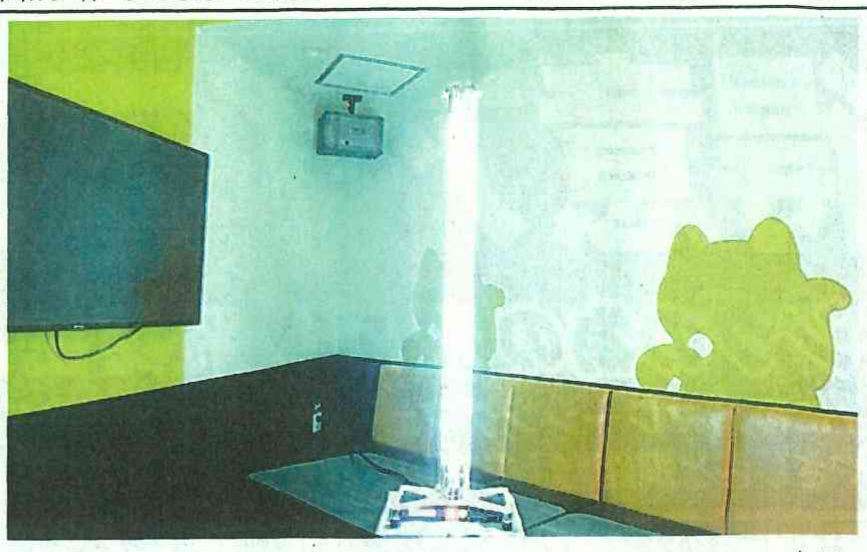

「まねきねこ」の各店舗に順次導入予定のUV照射機

カラオケルーム 紫外線で殺菌

茅野に工場 オーク製作所 小型照射機開発

「まねきねこ」店舗に順次導入の計画

茅野市に主力工場がある産業用ランプ製造のオーク製作所（東京）は、大腸菌などを殺菌・不活化するカラオケルーム用の紫外線（UV）照射機を開発したと発表した。女性スタッフでも持ち運びしやすいコンパクトさが特長。コシダカ（東京）が全国展開するカラオケ店「まねきねこ」の店舗に順次導入する計画だ。

東北大大学院生命科学研究科に実証実験を依頼し、広さ4～25平方㍍程度のカラオケルームに適したUVの波長と照射量にした。ガラス管に石英ガラスと酸化チタンを用いてUVの透過率を高めるなどし、高さ1・17㍍、幅33㌢、重さ3㌔の小型に仕上げた。殺菌しにくい大腸菌や、抗ウイルス実験に使われるウイルス「バクテリオファージ」で調べたところ、数分～数十分の照射で99・9％除菌・不活化した。カラオケルームが空室の時に置いて使うことを想定している。

同研究科によると、新型コロナウイルスの不活化に必要な紫外線量は、大腸菌やバクテリオファージの3分の1程度。オーク製作所の担当者は「今回の照射機は新型コロナの感染リスク低減も期待できる。他施設にも利用を広げたい」としている。